

第 43 回 JLTA 日本語テスト学会研究例会
(* 龍谷大学経営学会異文化ビジネスコミュニケーション研究会共催)

日時：2016 年 10 月 8 日（土）13 時半～17 時半

場所：龍谷大学大阪梅田キャンパス 〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14 階

最寄の交通機関：JR「大阪駅」桜橋出口より徒歩 4 分

使用言語：日本語・英語（参加者のニーズによって度合いを調整します。）

参加費：無料

Roundtable

テーマ：「グローバル人材育成に対応する言語教育と言語テスト文化」

2010 年、楽天代表取締役会長兼社長三木谷浩史は「英語ができない役員は 2 年後にクビにします」と社内英語公用語を宣言し、2012 年には Englishnization を実施した。「日本」と「国際」という枠を外すと企業コストを大きく削減できるという。今や、楽天のエンジニア採用の 81%は外国人となった。教育機関はこの流れに大きく影響を受け、グローバル人材育成＝英語力という構図が出来上がり、その動きにますます拍車がかかっている。1970 年代のように、「教養」対「実践」の大局的論争とは異なり、英語力はもはや無視できないのはグローバル時代の現実であろう。本ワークショップでは、「グローバル人材が必要とする英語力とはどのように概念化できるか、また正解を迫及する日本のテスト文化を批判的に考察し議論することを目的とする。加えて、グローバル時代に即した言語テスト文化はどのようにあるべきか、またどのように言語教育を評価すべきかを議論する。

開会の辞 事務局次長 片桐一彦(専修大学)

コーディネータ 龍谷大学経営学教授 李洙任

研究テーマ：「他者への共感力を高める英語教育：学習者の積極的関与を目指して」

パネリスト 1. Lisa Rogers 同志社女子大准教授

研究テーマ：「Diversity Factors in Leadership」

パネリスト 2. Chisato Morohashi Straumann 諸橋・シュトラウマン・千里

Intercultural Educator, Trainer, Consultant & Coach

研究テーマ：「日本企業対象に異文化経営のコーチング、EU での言語政策」

パネリスト 3. 大野邦夫 モナビ IT コンサルティング・研究部門長

研究テーマ：「人材育成における多様性の重要性～ コンピュータ技術者の視点から ～」

閉会の辞

問い合わせ先

李 洙任 (龍谷大学)

lee@biz.ryukoku.ac.jp